

薬学教育実務実習における振り返り学習の教育効果に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025年5月8日～2029年3月31日

〔研究課題〕

薬学教育実務実習における振り返り学習の教育効果の解析

〔研究目的〕

薬学教育実務実習は、学生が大学で学んだ内容を医療現場（薬局および病院）で実践することで薬剤師として必要な実践的な知識・技能・態度を深める重要な機会です。実習終了後には、実習を通して経験した多くの事例を学生同士で共有し、効果的であったことや改善が必要であったことなどを共に考え、振り返ることにより、学生はより深い学びを得ることができると考えられています。本研究では、実務実習終了後に振り返り学習を実施し、その教育効果について検証します。

〔研究意義〕

振り返り学習は、学生が薬学教育実務実習で学んだ知識やスキルを深く理解し、定着させるのに役立ちます。これにより単なる知識の習得にとどまらず、実際の医療現場での応用力が向上します。本研究を行うことで、より効果的な振り返り学習が提唱されることで、より深い知識の習得や医療現場での応用力が大きく向上します。

〔対象・研究方法〕

2024年2月19日と2月20日および2025年2月18日と19日に行われた薬学部5年生薬学教育実務実習振り返り学習に出席した学生全員を対象とします。振り返り学習前後で実施したアンケート調査や振り返り学習で行った課題を用いて、薬学教育実務実習の学習効果や振り返り学習による知識の定着など統計的手法を用いて解析します。解析するデータは個人がわからないように加工します。調査協力の有無が、成績等の評価には反映しません。

〔研究機関名〕 帝京大学 薬学部

〔個人情報の取り扱い〕

情報は適切に管理し、個人情報を保護します。解析結果と調査研究以外で使用いたしません。また、解析結果は成績等に反映しません。協力拒否を希望されても、成績評価には何の影響もありません。研究終了後、10年保管した後、廃棄いたします。

対象となる学生で、ご自身のアンケート結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 日下部 吉男 職名 講師
研究分担者：氏名 渡部 多真紀 職名 准教授
所属： 帝京大学 薬学部
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1
TEL：03-3964-1211（代表）〔内線 48423〕